

# 平成29年度試行調査の方向性

## ■平成29年度(案)

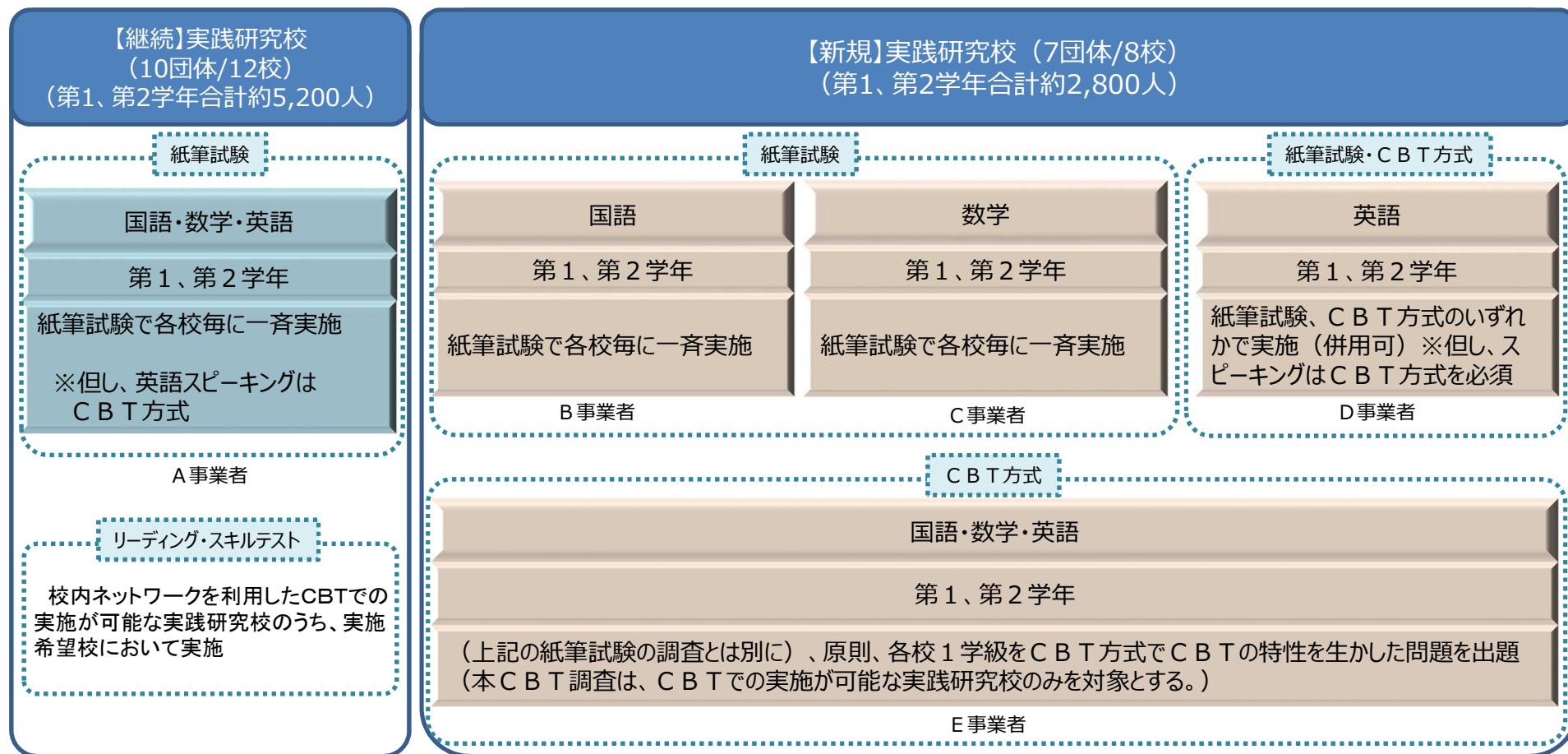
教科	科目	解答時間	問題構成(基本的枠組)	問題構成(共通事項)	解答方式
国語	国語総合	40分	○思考力・判断力・表現力等を問う問題を出題する	○「書くこと」に関する問題 → 複数の文字数(例えば、20字、40字、80字、120字)の記述式問題 ○統一的応用問題(仮称) → 社会生活とのつながりを意識した設定において、高校生に求められる基礎的な国語の能力を確認する問題 ※テキストの全体又は部分を把握、精査・解釈して解答する問題	○記述式を基本 必要に応じて選択式を出題
数学	数学 I	40分	○義務教育段階の内容を含める	○数学に関する基礎的な知識・技能を活用して解く問題 → 「数と式」、「図形と計量」、「二次関数」、「データの分析」の内容について活用する問題(解答は記述式) ○統一的応用問題(仮称) → 数学と生活を関連づけ、数学的方法によって課題を解決する場面を設定し、高校生に求められる数学の基礎的な能力を確認する問題	
英語	コミュニケーション英語 I	50分～100分程度	○4技能を測定する ○CEFRのA1～A2レベルを目安  ○義務教育段階の内容を含める	○「聞くこと」に関する問題 ○「読むこと」に関する問題 → 実際の言語使用場面を設定するなど ○「書くこと」に関する問題 → 実際の言語使用場面を設定するなど ○「話すこと」に関する問題 → 実際の言語使用場面を念頭に置いた内容とするなど	○選択式を基本  ○「書くこと」について記述式問題

## ■平成28年度

教科	科目	解答時間	問題構成(基本的枠組)	問題構成(共通事項)	解答方式
国語	国語総合	50分	○基礎的な知識・技能を問う問題を中心とし、併せて思考力・判断力・表現力等も問う問題をバランスよく取り入れる	○「話すこと・聞くこと」に関する問題【大問1題(設問2～3程度)】 ○「書くこと」に関する問題【大問1題(設問2～3程度)】 ○「読むこと」に関する問題【大問2題(設問5～6程度)】 ○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に関する問題【設問6題】 → 「伝統的な言語文化に関する事項」、「言葉の特徴やきまりに関する事項」 ○統一的応用問題【大問1題(設問3程度)】 → 社会生活とのつながりを意識した設定において、高校生に求められる基礎的な国語の能力を確認する問題	○選択式を基本  ○記述式問題を最低1問以上出題
数学	数学 I	50分	○義務教育段階の内容を含める	○基礎的な知識・技能について確認する問題【10問程度】 → 数学 I (数と式、図形と計量、二次関数、データの分析) 及び義務教育段階の「内容」について定着を確認する問題 ○数学に関する基礎的な知識・技能を活用して解く問題【4問】 → 「数と式」、「図形と計量」、「二次関数」、「データの分析」の内容について活用する問題 ○統一的応用問題【1問(設問設定可)】 → 数学と生活を関連づけ、数学的方法によって課題を解決する場面を設定し、高校生に求められる数学の基礎的な能力を確認する問題を出題する	
英語	コミュニケーション英語 I	○「読むこと」「聞くこと」「書くこと」50分 ○「話すこと」10分程度*	○4技能を測定する ○CEFRのA1～A2レベルを目安  ○義務教育段階の内容を含める	○「聞くこと」に関する問題【20分程度】 ○「読むこと」に関する問題【20分程度】 → 実際の言語使用場面を設定するなど ○「書くこと」に関する問題【10分程度】 → 実際の言語使用場面を設定するなど ○「話すこと」に関する問題【10分程度】 → 実際の言語使用場面を念頭に置いた内容とするなど	○選択式を基本  ○「書くこと」について記述式問題を最低1問以上出題

\*英語「話すこと」の解答時間は、作問委託公募要領では5分としていたが、作問の過程で教科調査官の助言により10分程度とすることとした。

## 平成29年度試行調査実施計画案（たたき台）



### 【紙筆試験の共通事項】

- 問題の難易度：「標準レベル」（高等学校段階の内容を中心）、「基本レベル」（義務教育段階の内容を中心）の2段階以上
- 作成問題数：「標準レベル」「基本レベル」において、それぞれ複数版を用意することが望ましい
- 各教科の調査には版に共通な問題を一部盛り込み、版の等化を可能とする。
- アンケート調査（生徒（調査問題の難易度・解答時間等、学校内外での学習状況・生活習慣等）・学校（指導状況等））を実施
- 実践研究校以外の協力校における実施（H28年度に協力校で実施した団体と協議）
- 上記調査に加えて、各教科の基礎的な知識・技能の調査を希望する学校に対しては、平成28年度の問題及び解答を提供（各校で採点を実施）

# 平成29年度高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための研究開発事業 実践研究校一覧

## 【継続】

整理番号	委託団体	実践研究校	学 科	生徒数				学級数			
				1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計
1	北海道教育委員会	札幌英藍高等学校	普通科	320	318	316	954	8	8	8	24
2	山形県教育委員会	庄内総合高等学校	総合学科	108	94	70	272	3	3	2	8
3	石川県教育委員会	松任高等学校	普通科、総合学科	189	172	163	524	5	5	5	15
4	静岡県教育委員会	熱海高等学校	普通科	105	94	70	269	3	3	3	9
5	滋賀県教育委員会	玉川高等学校	普通科	320	319	310	949	8	8	8	24
6	大阪府教育委員会	大阪府教育センター附属高等学校	普通科	281	280	272	833	8	7	7	22
7	兵庫県教育委員会	柏原高等学校	普通科	240	277	263	780	6	7	7	20
		姫路南高等学校	普通科	240	239	236	715	6	6	6	18
8	島根県教育委員会	出雲農林高校	専門学科(植物科学科、環境科学科、食品科学科、動物科学科)	161	156	161	478	4	4	4	12
9	岡山県教育委員会	林野高等学校	普通科	112	133	134	379	4	4	4	12
		岡山工業高等学校	専門学科(機械科、土木科、化学工学科、デザイン科、建築科、情報技術科、電気科)	320	318	318	956	8	8	8	24
10	福岡県教育委員会	朝倉東高等学校	普通科・専門学科(総合ビジネス、ビジネス情報科)	200	199	196	595	5	6	6	17
合計		12校		2,596	2,599	2,509	7,704	68	69	68	205

## 【新規】

整理番号	委託団体	実践研究校	学 科	生徒数				学級数			
				1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計
1	千葉県教育委員会	船橋法典高等学校	普通科	240	230	233	703	8	7	7	22
2	山梨県教育委員会	市川高等学校	普通科、英語科	150	151	147	448	4	4	4	12
		富士北稜高等学校	総合学科	260	254	247	761	7	7	7	21
3	岐阜県教育委員会	海津明誠高等学校	普通科、情報処理科、生活福祉科	189	181	180	550	5	5	5	15
4	三重県教育委員会	菰野高等学校	普通科	160	158	145	463	5	4	4	13
5	奈良県教育委員会	榛生昇陽高等学校	普通科、福祉科	192	182	204	578	5	5	6	16
6	高知県教育委員会	高知丸の内高等学校	普通科、音楽科	167	164	167	498	5	6	6	17
7	学校法人文理開成学園	文理開成高等学校	普通科(大学進学コース、普通コース)	42	33	35	110	2	2	2	6
合計		8校		1,400	1,353	1,358	4,111	41	40	41	122